

軽スーパーハイトワゴン『eK クロス スペース』『eK スペース』が
「2020年度グッドデザイン賞」を受賞

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役 CEO：加藤 隆雄、以下三菱自動車）が今年 3 月に発売した、軽スーパーハイトワゴン『[eK クロス スペース](#)』『[eK スペース](#)』が、公益財団法人日本デザイン振興会の主催する「2020年度グッドデザイン賞^{*1}」を受賞しました。

このたびの受賞では、多彩なボディカラーラインアップや使い勝手が良く快適な室内空間、先進の運転支援技術などの利便性が高く評価されました。デザイン面の特長として、『eK クロス スペース』は、三菱自動車のフロントデザインコンセプト「ダイナミックシールド」を採用。彫刻的で立体感のあるキャラクターラインや、ブラックのサイドシルガーニッシュやホイールアーチを用い、SUVらしい力強く安定感のあるデザインとしました。また『eK スペース』は、親しみやすく、しっかりと丁寧に作りこまれたフロントフェイスに、柔らかなラインで構成された伸びやかでスタイリッシュなデザインを特長としています。



eK スペース / eK クロス スペース

【審査員評価コメント】

その車名の通り、軽自動車とは思えない圧倒的な室内空間の広さが魅力である。クラス No.1 の後部座席のスライド量^{*2}や、650 mm もの開口部があり、ハンズフリーで開けられるオートスライドドア、後部荷物室から片手で動かせる後部席も利便性を最大化している。軽自動車を購入する際の一番の選択理由が『色』であるそうだが（三菱自動車調べ）、爆発的に普及している軽自動車の色の美しさとバラエティは重要なポイントである。高速道路走行時のレベル 2 相当の高度運転支援機能の装備も遠乗り時の魅力を増している。

【商品特長】

(1) 三菱自動車らしい個性的なデザイン

- ① 力強いSUVテイストの『eKクロス スペース』
- ② スタイリッシュで親しみやすい『eK スペース』
- ③ 6通りのツートーンカラーと、7通りのモノトーンカラーの全13通りの多彩なボディカラーラインアップ（『eKクロス スペース』の場合）

(2) 使い勝手が良く快適な室内空間

- ① クラストップの後席シートスライド量*2で快適な居住空間
- ② 足先でサッとドアが開閉できるハンズフリーオートスライドドア

(3) 先進の運転支援技術と安全装備

- ① ドライバーの負担を軽減する高速道路同一車線運転支援技術「マイパイロット (MI-PILOT)」
- ② 乗る人すべてに安心・安全を提供する「三菱 e-Assist」

*1：グッドデザイン賞は、1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を発端とする、日本唯一の総合的なデザイン評価・推奨の運動です。これまで60年以上にわたり、デザインを通じて日本の産業や生活文化を向上させる運動として展開され、のべ受賞件数は45,000件以上にのぼります。今日では国内外の多くの企業や団体などが参加する世界的なデザイン賞で、グッドデザイン賞受賞のシンボルである「Gマーク」は、すぐれたデザインを示すシンボルとして広く親しまれています。

*2：軽スーパーハイトワゴンクラス=全高1700mm以上かつ、エンジンをボンネット内に配置した軽自動車。2020年2月自社調べ。

<『eKクロス スペース』の車種サイトはこちら>

https://www.mitsubishi-motors.co.jp/lineup/ek_x_space/index.html

<『eK スペース』の車種サイトはこちら>

https://www.mitsubishi-motors.co.jp/lineup/ek_space/index.html

以 上